

第75回セメント技術大会

～ プログラム ～

日 時： 2021年5月26日(水) 10:30～16:15

27日(木) 10:30～16:10

28日(金) 10:30～15:40

形 式： オンライン開催 (<https://confit.atlas.jp/jcalab21>)

聴講にあたっては事前申込みが必要になります。

(上記URLよりお申し込みください。)

参加費： 無料

講演要旨： CD-ROM版： 定価5,225円(税込)

なお、前記の価格のほかに、別途に送料(実費)がかかります。

5月上旬発行予定

※本大会は土木学会認定のCPDプログラムです。

(詳細は末尾のページをご覧ください。)

一般社団法人 セメント協会

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号

☎ 103-0023 TEL. 03-5200-5051

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号

☎ 114-0003 TEL. 03-3914-2692(技術情報グループ)

第75回セメント技術大会 研究発表スケジュールおよび座長一覧

[敬称略]

開催日	会場	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	
大会 1日目 5月26日 (水)	第1会場		分析技術 (6件) No.1101~1106 日本大学 佐藤 正己 住友大阪セメント(株) 清水 準			昼休み (60分)		クリンカー鉱物 (2件)、セメントの水和 (3件) No.1107~1111 山口大学名誉教授 後藤 誠史 東京大学 高橋 佑弥		休憩	セメント系新材料 (4件) No.1112~1115 日本大学 大宅 淳一 (株)トクヤマ 堀田 卓秀			
	第2会場		膨張・収縮 (3件)、ひび割れ (2件)、物性一般 (1件) No.1201~1206 群馬大学 小澤 満津雄 宇部三菱セメント(株) 桜田 道博			昼休み (60分)		コンクリートの施工 (5件) No.1207~1211 熊本大学 尾上 幸造 デンカ(株) 森 泰一郎		休憩	コンクリートの施工 (2件) No.1212~1213 東京都立大学 上野 敦 住友大阪セメント(株) 齋藤 尚	委員会報告 舗装技術 専門委員会	コンクリート舗装の 長寿命化・ 信頼性向上技術 検討会報告	コンクリート舗装 (2件) No.1214~1215 東京都立大学 上野 敦 住友大阪セメント(株) 齋藤 尚
	第3会場		塩害・鋼材腐食 (6件) No.1301~1306 東京都市大学 佐藤 幸恵 宇部興産(株) 玉滝 浩司			昼休み (60分)		塩害・鋼材腐食 (5件) No.1307~1311 海上・港湾・航空技術研究所 川端 雄一郎 住友大阪セメント(株) 本田 和也		休憩	化学的浸食・溶脱 (3件)、ASR (2件) No.1312~1316 九州工業大学 合田 寛基 デンカ(株) 上村 豊			
大会 2日目 5月27日 (木)	第1会場		製造技術 (2件)、環境・リサイクル (4件) No.2101~2106 前橋工科大学 佐川 孝広 宇部興産(株) 丸屋 英二			昼休み (60分)		環境・リサイクル (6件) No.2107~2112 岩手大学 小山田 哲也 三菱マテリアル(株) 高橋 智彦		休憩	混合材 (5件) No.2113~2117 大成建設(株) 宮原 茂禎 宇部興産(株) 後藤 卓			
	第2会場		コンクリート製品 (5件) No.2201~2205 東京理科大学 加藤 佳孝 太平洋セメント(株) 河野 克哉			昼休み (75分)	委員会報告 セメント系 固化材 技術専門 委員会	セメント系固化材 (6件) No.2206~2211 広島大学 半井 健一郎 三菱マテリアル(株) 清田 正人						
	第3会場		化学混和剤 (2件)、混和材 (2件)、骨材 (1件) No.2301~2305 (株)フローリック 西 祐直 宇部興産(株) 石田 剛朗			昼休み (75分)		耐久性一般 (6件) No.2306~2311 東京理科大学 清原 千鶴 太平洋セメント(株) 森 寛見		休憩	中性化 (1件)、凍結融解 (3件) No.2312~2315 東京理科大学 兼松 学 太平洋セメント(株) 兵頭 彦次			
大会 3日目 5月28日 (金)	第1会場		混合セメント (6件) No.3101~3106 北海道大学 YOGARAJAH Elakneswaran (株)アイ・シイ 二戸 信和			昼休み (60分)		混合セメント (5件) No.3107~3111 新潟大学 齋藤 豪 (株)トクヤマ 茶林 敬司		休憩	特殊セメント (4件) No.3112~3115 芝浦工業大学 伊代田 岳史 太平洋セメント(株) 黒川 大亮			
	第2会場		C-S-Hの長期安定性 (2件)、 セメント、モルタルの性質と物性 (3件) No.3201~3205 島根大学 新 大軌 太平洋セメント(株) 星野 清一			昼休み (75分)		セメント、モルタルの性質と物性 (5件) No.3206~3210 日本大学 小泉 公志郎 宇部興産(株) 高橋 恵輔		休憩	高強度コンクリート (2件)、 繊維補強コンクリート (2件) No.3211~3214 埼玉大学 浅本 晋吾 宇部興産(株) 桐山 宏和			
	第3会場		セメント系補修材 (2件)、 コンクリートの診断・補修 (4件) No.3301~3306 東京大学 酒井 雄也 三菱マテリアル(株) 木元 大輔			昼休み (60分)		高流動コンクリート (5件) No.3307~3311 ポゾリスソリューションズ(株) 井元 晴丈 太平洋セメント(株) 早野 博幸		休憩	流動性 (4件) No.3312~3315 ポゾリスソリューションズ(株) 菅俣 匠 住友大阪セメント(株) 三浦 真司			

- 備考 (1) 時間帯は、概略の時刻を示しております。発表は、1件当たり4分間の質疑応答を含め、14分間の予定です。
 (2) それぞれのセッションのテーマ名は、発表内容の概要を示したもので、プログラム編成上の都合により、発表内容と一致しない場合があります。
 (3) 本プログラムは、申込書の記載事項をもとに作成しています。
 (4) 都合により座長が変更になる可能性があります。

5月26日(水)

第1会場

第2会場

注：○印は講演者、*印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す

10：30～12：00 分析技術

[研究発表 1101～1106]

10：30～12：00 膨張・収縮、ひび割れ、物性一般

[研究発表 1201～1206]

1101. 低圧領域における等量微分吸着熱によるトバモライトの構造評価

新潟大学大学院 ○鈴木 一 帆
新潟大学 斎藤 豪
旭化成ホームズ株式会社 松井 久仁雄
新潟大学 佐伯 竜彦

1201. モノカーボネートからのエトリンサイト-ソーマサイト生成挙動の検討

新潟大学 ○高橋 京介
新潟大学大学院 斎藤 豪
鈴木 一良
帆

1102. 低圧水蒸気吸着等温線から取得した吸着熱による高Ca/Si比C-S-Hの構造評価

新潟大学 ○斎藤 豪
新潟大学大学院 鈴木 一 帆
旭化成ホームズ株式会社 松井 久仁雄
新潟大学 佐伯 竜彦

1202. アルカリ吸着材を添加したモルタルにおけるエトリンサイトの遅延生成による膨張挙動

鉄道総合技術研究所 ○山崎 由紀
上原 元樹

1103. 水蒸気吸着測定によるケイ酸カルシウム水和物構造の考察

旭化成ホームズ株式会社 ○松井 久仁雄

1203. スラグ系細骨材を使用したコンクリートのブリーディングが収縮ひずみに及ぼす影響

東京理科大学大学院 ○原品 武
東京理科大学 今本 啓一
株式会社浅沼組 山崎 順二
株式会社関西宇部 安田 慎吾

1104. 長期高温作用を受けたセメント硬化体のX線小角散乱測定による微細構造解析

電力中央研究所 ○蔵重 勲
川戸 陸也
旭化成株式会社 坂本 直紀
旭化成ホームズ株式会社 松井 久仁雄

1204. 非貫通ひび割れを有するセメント系材料の遮塩性能について

電力中央研究所 ○松井 淳

1105. 炭酸化を受けたセメント系材料中のCO₂含有率評価に向けた分析方法の検討

デンカ株式会社 ○安田 僚介
島崎 大樹
七澤 章
森 泰一郎

1205. RC梁の断面修復部の曲げ変形によるひび割れ発生を考慮した解析的検討

立命館大学大学院 ○神代 康輔
立命館大学 吉富 信太
金山 侖美
福山 智子

1106. Lasso回帰を用いたセメント品質予測

太平洋セメント株式会社 ○樋達 斗
細川 佳史
黒川 大亮

*1206. 水分逸散に基づくセメント系硬化体の空隙構造連続性に関する基礎的検討

長崎大学大学院 ○佐々木 謙二
長崎大学 本多 南
長崎大学大学院 王 菜傑

〈昼休み 12：00～13：00〉

〈昼休み 12：00～13：00〉

第3会場

10:30~12:00 塩害・鋼材腐食

[研究発表 1301~1306]

1301. 高湿度での中性化モルタル中の鉄筋腐食に及ぼす温度の影響に関する基礎的研究

東京大学大学院 ○Cheng Luge
東京大学大学院、名古屋大学大学院 丸山 一平

1302. 塩害とASRの複合劣化が生じたモルタル内部鉄筋の腐食速度評価

金沢工業大学大学院 ○菅原 典大
宮里 心一

1303. EPMA測定によるコンクリート中への塩化物イオンの拡散浸透速度予測法

北海道大学 ○市川 恒樹
国立環境研究所 山田 一夫
株式会社太平洋コンサルタント 芳賀 和子

1304. 室内実験方法の違いが塩化物イオンの拡散係数に与える影響

東京理科大学 ○藤田 和哉
江 俊 頤
加藤 佳孝
高橋 駿人

1305. 消費酸素量を考慮した鉄筋コンクリート中の鉄筋の腐食に関する一考察

デンカ株式会社 栖原 健太郎
宮崎大学大学院 松浪 康行
宮崎大学 ○李 春鶴
持続可能な社会基盤研究会 辻 幸和

1306. 実構造物の調査結果に基づく表面における塩化物イオン濃度と海岸からの距離との関係性

福岡大学大学院 ○林 亮 大
福岡大学 樋原 弘 貴
福岡大学大学院 添田 政 司

〈昼休み 12:00~13:00〉

5月26日(水)

第1会場

13:00~14:15 クリンカー鉱物、セメントの水和
〔研究発表 1107~1111〕

1107. 原料中のアルミ形態がクリンカー鉱物生成プロセスとセメント物性に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社 ○佐藤友樹
中田裕伸
清水準

1108. MnO₂が低温焼成型組成のクリンカー鉱物およびセメントの物性に及ぼす影響

株式会社トクヤマ ○大田将巳
茶林敬司
関卓哉
加藤弘義

1109. 錯体重合法を用いた高活性β-C₂Sおよびポルトランドセメントの水和特性とC-S-Hの構造評価

新潟大学 ○渡辺泰樹
斎藤豪
新潟大学大学院 鈴木一帆
新潟大学 佐伯竜彦

1110. NaClを添加したセメント硬化体の強度発現と水和反応

前橋工科大学 ○佐川孝広
足立日向

1111. 農業用RC開水路の内部に生成するエトリンガイトの調査

鳥取大学 ○兵頭正浩
緒方英彦
鳥根大学 新大軌
土木研究所 石神暁郎

第2会場

13:00~14:15 コンクリートの施工
〔研究発表 1207~1211〕

*1207. 暑中期における沖縄県内の生コンクリート温度に関する研究その1.各種材料およびコンクリート温度の実態調査

琉球大学大学院 ○肖春彦
琉球大学 山田義智
安室梨乃
九州大学 小室智幸

1208. 暑中期における沖縄県内の生コンクリート温度に関する研究その2.ランダムフォレストによる生コンクリート温度の予測

琉球大学 ○安室梨乃
山田義智
琉球大学大学院 肖春彦
九州大学 小室智幸

1209. 吸水調整剤の塗布が断面のせん断抵抗や引張抵抗に及ぼす影響

福島工業高等専門学校 ○緑川猛彦
株式会社富士ピー・エス 吉次優祐
正木利守
杉江匡紀

1210. 締固めの方法と型枠の種類が表層品質へ及ぼす影響の分析

広島大学大学院 ○横山勇気
Nguyen May Huu
広島大学 松山利和
広島大学大学院 半井健一郎

1211. 適度な剛性を有する透水性型枠シートの施工性向上効果に関する検討

若築建設株式会社 ○秋山哲治
勝畑敏幸
小山稔樹

〈休憩 14:15~14:40〉

〈休憩 14:15~14:40〉

第3会場

13 : 00～14 : 15 塩害・鋼材腐食

〔研究発表 1307～1311〕

1307. THE STUDY ON SALT PREVENTIVE AND PORE SIZE DISTRIBUTION OF BLAST FURNACES SLAG MORTAR

Tokai university, Graduate school of Science and Technology	○SUBPA-ASA PRANG
	Takaki Fujita
Tokai university	Nana Katsuoka
	Shigeyuki Date

1308. Study on Durability of Mortar with Different Blaine values of Blast Furnace Slag (BFS) Powder

Tokai university, Graduate school of Science and Technology	○Ruckthongsuk Sanpob
	Takaki Fujita
	Subpa-asa Prang
Tokai university	Shigeyuki Date

1309. シリカフェーム混合セメントおよび普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートの発錆限界の検討

三菱マテリアル株式会社	○針 貝 貴 浩
	立 川 龍之介
	高 原 幸之助

1310. 水結合材比の異なる膨張材CA2併用コンクリートの遮塩性能の評価方法の検討

芝浦工業大学	○宮 脇 正 嗣
デンカ株式会社	伊 藤 慎 也
芝浦工業大学	伊代田 岳 史

*** 1311. 亜硝酸リチウムによる鋼材腐食抑制機構の解明に関する基礎的研究**

宮崎大学	山 近 良 祐
宮崎大学大学院	○下 村 克 哉
宮崎大学	李 春 鶴

〈休憩 14 : 15～14 : 40〉

5月26日(水)

第1会場

14:40~15:40 セメント系新材料

[研究発表 1112~1115]

1112. 錯体重合法による高C/S比C-S-Hの乾燥が及ぼす構造変化

新潟大学大学院 新潟大学 新潟大学大学院 太平洋セメント株式会社
○粉 川 拓 海 斎 藤 一 豪 鈴木 一 帆 細 川 佳 史

1113. シリカ原料の粒径と結晶性がトバモライトおよびゾノトライトの合成に及ぼす影響

島根大学 住友金属鉱山シボレックス株式会社
○横 光 優 新 大 軌 森 本 湧 今 澤 公 太 一

1114. 錯体重合法を用いた高C/S比C-S-Hによる造核効果に関する基礎的検討

新潟大学 新潟大学大学院 太平洋セメント株式会社
○柏 谷 賢 亮 斎 藤 一 豪 鈴木 一 帆 細 川 佳 史

1115. 前養生時のC3Aの反応がオートクレーブ養生を用いたケイ酸カルシウム水和物の合成におよぼす影響

住友金属鉱山シボレックス株式会社 島根大学
○森 本 湧 太 今 澤 公 一 堀 口 昌 利 新 大 大 軌

第2会場

14:40~15:10 コンクリートの施工

[研究発表 1212~1213]

1212. 電気抵抗を用いたフレッシュコンクリートの材料分離評価法の開発

芝浦工業大学大学院 元芝浦工業大学 戸田建設株式会社 芝浦工業大学
○白 石 真由奈 八 代 うらら 山 田 勉 伊代田 岳 史

1213. 打込みおよび締固めによるフレッシュコンクリートの空気量変化と材料分離程度の把握

東京理科大学 東急建設株式会社 東京理科大学
○部 佳 琦 高 橋 駿 人 鈴木 将 充 加 藤 佳 孝

15:10~15:25 舗装技術専門委員会 委員会報告

15:25~15:45 コンクリート舗装の長寿命化・信頼性向上技術検討会報告

15:45~16:15 コンクリート舗装

[研究発表 1214~1215]

1214. 1DAY PAVEの配合条件が傾斜部における仕上げ面の変形に及ぼす影響

太平洋セメント株式会社
○立 岩 華 英 小 島 克 仁 岸 良 竜 河 野 克 哉

1215. ポーラスコンクリート試験舗装の供用20年調査結果

セメント協会 東京農業大学 太平洋セメント株式会社 セメント協会
○瀧 波 勇 人 小 梁 川 尾 尾 梶 尾 尾 英 文 泉 尾 英 文

(終了 15:40)

(終了 16:15)

第3会場

14：40～15：55 化学的浸食・溶脱、ASR

〔研究発表 1312～1316〕

**1312. 水深約5700mの海底に1年間暴露したセメントペー
スト硬化体に生じた変化**

宇部興産株式会社	○小林 真理
	高橋 恵輔
海洋研究開発機構	難波 康広
東京海洋大学	山中 寿朗

**1313. 超深海域を想定した水圧がセメント硬化体の物性や
微細構造に及ぼす影響**

宇部興産株式会社	○高橋 恵輔
	小林 真理

**1314. 水深約1900mの海底で原位置打設したセメントモル
タルに生じた変化**

宇部興産株式会社	○秋藤 哲
	高橋 恵輔
海洋研究開発機構	小林 真理
	木村 俊則

**1315. コンクリート構造物から採取したコアによるアルカ
リシリカ反応性の岩石学的検討**

株式会社太平洋コンサルタント	○本合 弘樹
	安藤 陽子
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社	河尻 留奈
	鳥居 和之

**1316. 異なる成分の太陽光パネル廃ガラスを用いたモルタ
ルの性能評価に関する研究**

宮崎大学	川畑 勇輝
	○李春 鶴
	塩盛 弘一郎
ソーラーフロンティア株式会社	原田 秀樹

(終了 15：55)

5月27日(木)

第1会場

10:30~12:00 製造技術、環境・リサイクル

[研究発表 2101~2106]

2101. Taiheiyo Thermal Reactorを利用した環境ソリューション

太平洋エンジニアリング株式会社 ○山本泰史
太平洋セメント株式会社 寺崎淳一
大連小野田水泥有限公司 木村貴之
蔡 曉慶

2102. 熱流体シミュレーションを用いた仮焼炉二段燃焼システムのNOx削減メカニズムの解明

太平洋セメント株式会社 ○佐野雄哉
太平洋エンジニアリング株式会社 廣瀬敏章
太平洋セメント株式会社 寺崎淳一

2103. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その14) セメント製造で活用されるリサイクル資源の品目別環境影響評価

太平洋セメント株式会社 ○中口歩香
株式会社トクヤマ 桐野裕介
広島大学大学院 新見龍男
河合研至

*2104. セメントのリサイクル資源を考慮した環境影響評価(その15) 各種セメントの輸送における環境影響の定量化

広島大学大学院 ○室園環
太平洋セメント株式会社 桐野裕介
株式会社トクヤマ 新見龍男
広島大学大学院 河合研至

2105. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その16) CO₂吸収を考慮した構造物の評価

株式会社トクヤマ ○新見龍男
太平洋セメント株式会社 桐野裕介
株式会社トクヤマ 加藤弘義
広島大学大学院 河合研至

2106. セメント硬化体のCO₂吸収と生成物の組成変化

東京工業大学 ○梅津真見子
太平洋セメント株式会社 坂井悦郎
デンカ株式会社 黒川大亮
森 泰一郎

<昼休み 12:00~13:00>

第2会場

10:30~11:45 コンクリート製品

[研究発表 2201~2205]

2201. 蒸気養生モルタルの強度発現に及ぼす初期散水養生の効果

東海大学大学院 ○勝岡夏那
佐藤工業株式会社 横川龍一
東海大学 宇野洋志
伊達重之

2202. プレキャストコンクリートの脱型時の圧縮強度予測に関する基礎的研究

東海大学大学院 ○横川龍一
東海大学 勝岡夏那
伊達重之 瀧川瑞季

2203. Basic study on Compressive strength estimation by temperature history and non-destructive tests

Tokai university, Graduate school of Science and Technology ○Tumen Nomin
Tokai university Ryuichi Yokokawa
Shigeyuki Date Mizuki Takigawa

2204. PCa製品用フライアッシュコンクリートの養生条件が遮塩性および中性化抵抗性に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社 ○中西明久
昭和コンクリート工業株式会社 山沙友里
宮澤 聡

2205. セメントを使わない硬化体の長期強度特性に関する基礎研究

日本ヒューム株式会社 ○畑本克美
東京都下水道サービス株式会社 杉林悦朗
足利大学 宮澤 伸吾

<昼休み 11:45~13:00>

第3会場

10:30~11:45 化学混和剤、混和材、骨材

〔研究発表 2301~2305〕

*2301. ブリーディング抑制およびC-S-Hナノ粒子の存在が
コンクリートの物質移動抵抗性に及ぼす影響

芝浦工業大学大学院	○坂 井 一 貴
芝浦工業大学	野 口 和 真
ポゾリスソリューションズ株式会社	杉 山 知 巳
芝浦工業大学	伊代田 岳 史

2302. 高炉スラグ微粉末の水和反応に及ぼすC-S-H早強剤
の効果

島根大学大学院	○安 達 丈
島根大学	新 大 軌
ポゾリスソリューションズ株式会社	井 元 晴 丈

2303. 火山ガラス微粉末Ⅱ種を使用したコンクリートの基
本物性について

住友大阪セメント株式会社	○西 元 央
辻産業株式会社	橋 本 龍 一
	小 浦 千 秋
住友大阪セメント株式会社	中 村 崇

2304. 先打ち部材の形状寸法が非対称な断面を持つCPC部
材の膨張性状に及ぼす影響

宮崎大学	山 崎 裕 太
宮崎大学大学院	○西 崎 辰 冶
宮崎大学	李 春 鶴
持続可能な社会基盤研究会	辻 幸 和

2305. クリンカー細骨材を使用した蒸気養生モルタルの諸
特性

太平洋セメント株式会社	○高 野 美 育
	林 建 佑
	内 田 俊一郎

〈昼休み 11:45~13:00〉

5月27日(木)

第1会場

13:00~14:30 環境・リサイクル

[研究発表 2107~2112]

2107. バイオマス灰を使用したクリンカー中のアルカリが及ぼす混合セメントの物性への影響

太平洋セメント株式会社 ○溝 渕 裕 美
黒 川 大 亮
細 川 佳 史

2108. スラッジ水高度利用による生コンクリート産業の環境負荷低減に関する技術開発

島根大学 ○新 大 軌
株式会社北川鉄工所 勝 部 英 一
株式会社まるせ 砂 田 栄 治
広島地区生コンクリート協同組合 橋 田 浩 幸

2109. 低品質再生細骨材を用いたモルタルの改質方法の検討

芝浦工業大学 ○湯 屋 蓮
株式会社東京テクノ 松 山 信 広
ポゾリスソリューションズ株式会社 杉 田 知 巳
芝浦工業大学 伊代田 岳 史

2110. 石炭ガス化スラグ骨材の化学的基礎検討

日本大学 ○小 泉 公志郎
石 川 嘉 崇

2111. ゼオライト-C-A-S-Hの結晶構造評価

新潟大学 ○馬 渡 大 翔
新潟大学大学院 斎 藤 豪 帆
新潟大学 佐 伯 竜 彦

2112. ゼオライトジオポリマーの作製と放射性廃棄物固定への応用

山口大学 ○小 松 隆 一
松 田 地 平
宮 川 明 祥
麻 川 明 俊

第2会場

13:00~13:15 セメント系固化材技術専門委員会
委員会報告

13:15~14:45 セメント系固化材

[研究発表 2206~2211]

2206. 粘土-セメントの混合相における生成物の構造評価

新潟大学 ○宮 下 綾 乃
斎 藤 木 豪
新潟大学大学院 鈴 木 帆
新潟大学 佐 伯 竜 彦

2207. 水酸化カルシウムの添加がアロフェンを含む火山灰質土のセメント改良に与える影響の分析

東京大学大学院 ○奥 村 太 河
高 橋 佑 弥

2208. 廃石膏ボードの中間処理形態の紙くずがセメント系高含水汚泥地盤改良土のpHの低下に与える影響

徳島大学大学院 ○杉 原 匠
株式会社ピーエス三菱 塚 本 涼 介
徳島大学大学院 橋 本 親 典
渡 邊 遼 典

2209. セメント系固化材による改良土の特性(その1) 湿润密度および強度発現性

セメント協会 ○泉 尾 英 文
住友大阪セメント株式会社 吉 田 雅 彦
宇部三菱セメント株式会社 黒 澤 功
日立セメント株式会社 佐 藤 宏 樹

2210. セメント系固化材による改良土の特性(その2) 一軸圧縮強さと諸物性の関係

太平洋セメント株式会社 ○野 崎 隆 人
株式会社テイ・シイ 二 戸 信 和
宇部興産株式会社 米 田 浩 修
三菱マテリアル株式会社 土 肥 浩 大

2211. セメント系固化材による改良体の膨張に関する基礎検討(その4)

セメント協会 ○野 田 潤 一
株式会社トクヤマ 重 田 輝 年
太平洋セメント株式会社 野 崎 隆 人
宇部三菱セメント株式会社 黒 澤 澤 人

<休憩 14:30~14:55>

(終了 14:45)

第3会場

13:00~14:30 耐久性一般

〔研究発表 2306~2311〕

2306. 細骨材の違いが耐熱性補修モルタルの加熱後の力学特性に与える影響

群馬大学	○富山隆彦
群馬大学大学院	劉 晨
株式会社ケミカル工事	福井拓也
群馬大学大学院	小澤満津雄

2307. 乾湿繰返し作用が断面修復材の付着強度に及ぼす影響

金沢工業大学	○田中泰司
	早苗莉輝

2308. コンクリートの物質移動に対する遷移帯の影響把握と改善方法の検討

芝浦工業大学大学院	○深澤英将
芝浦工業大学	伊代田岳史

2309. Experimental investigation on water penetration property of concrete incorporating blast furnace slag

The University of Tokyo	○Gaddam PruthviRaj
	Tomohisa Kamada
	Na Seunghyun
	Toshiharu Kishi

2310. 高温作用と塩水作用を受けたRC部材の曲げ耐力評価

群馬大学	○富士田玲
群馬大学大学院	阿久津裕亮
太平洋マテリアル株式会社	杉野雄亮
群馬大学大学院	小澤満津雄

2311. 供用後数十年が経過した鉄筋コンクリート構造物の水分浸透速度

東京大学	○鎌田知久
東日本旅客鉄道株式会社	原田悟
東京大学	岸利治

〈休憩 14:30~14:55〉

5月27日(木)

第1会場

第2会場

14:55~16:10 混合材

[研究発表 2113~2117]

2113. Effect of some salts on strength development of BFS paste

Hokkaido University Graduate School of Engineering Yuya Yamada
○Z H A I Q I
Hiroaki Omatsu
Hokkaido University Kiyofumi Kurumisawa

2114. 種々のカルシウム塩を添加した高炉スラグの水和反応

島根大学大学院 ○大 崎 修 也
宇部興産株式会社 伊 藤 貴 康
日本大学 大 宅 淳 一
島根大学 新 大 軌

2115. 化学成分が異なるGGBFSの置換率に着目した高炉セメントの反応メカニズムの一考察

芝浦工業大学大学院 ○宮 崎 幹 太
芝浦工業大学 伊代田 岳 史

2116. Relationship Between Ca/Si Molar Ratio and Specific Surface Area of CSH in Hardened Cement Containing Fly Ash

Nagoya University, Graduate School of Environmental Studies ○Shota Umeki
Ryo Kurihara
Ippei Maruyama

2117. 色差計による各種混和材を用いたセメントペースト硬化体のL*a*b*色空間評価

熊本高等専門学校 ○橋 崎 航 平
勝 野 幸 司
松 家 武 樹

(終了 16:10)

第3会場

14:55~15:55 中性化、凍結融解

〔研究発表 2312~2315〕

2312. ポリマーセメントモルタル被覆コンクリートにおける接着強さ性状および中性化抵抗性に及ぼす吸水調整材の塗布量の影響

日本大学大学院	○田	中	拓	弥
日本大学	齋	藤	俊	克
日本大学名誉教授	出	村	克	宣
太平洋マテリアル株式会社	掛	川	勝	勝

2313. JIS A 1148凍結融解試験前後における気泡径分布の比較

鳥取大学大学院	○大	塚	桃	菜
鳥取大学	緒	方	英	彦
	兵	頭	正	浩

2314. 小片凍結融解試験によるコンクリートのスケーリング抵抗性の評価に関する検討

岩手大学大学院	○藤	齋	祐	希
岩手大学	小山田	哲	也	祐
	羽	原	俊	祐

2315. 普通ポルトランドセメント及び高炉セメントB種を用いたコンクリートのスケーリングに影響を及ぼす要因の検討

宇部興産株式会社	○加	藤	英	徳
	久	保	雄	暉
	石	田	剛	朗

(終了 15:55)

5月28日(金)

第1会場

10:30~12:00 混合セメント

[研究発表 3101~3106]

3101. Impact of temperature on development of compressive strength of hardened VGP-cement paste

The University of Tokyo ○REN YUQI
Ippei Maruyama
Takafumi Noguchi
Atsushi Tomoyose

3102. Strength and phase assemblage of limestone calcined clay cements (LC³) with clinker content from 50% down to 30%

Laboratory of Construction Materials, EPFL ○Briki Yosra
Heidelberg Technology Center GmbH Ben Haha Mohsen
Laboratory of Construction Materials, EPFL Scrivener Karen

3103. 石灰石-高炉スラグ混合セメントのASR抑制効果に関する検討

太平洋セメント株式会社 ○中 口 歩 香
桐 野 裕 介
林 建 佑
内 田 俊一郎

3104. 促進剤を添加したスラグの²⁷Al-NMRを用いた反応機構解析

宇部興産株式会社 伊 藤 貴 康
○原 田 奏 也
大 崎 雅 史
島根大学 新 大 軌

3105. スラグ-CH硬化体の空隙構造に及ぼす促進剤添加の影響

宇部興産株式会社 伊 藤 貴 康
○原 田 奏 也
大 崎 雅 史
島根大学 新 大 軌

3106. スラグ置換率と養生温度が異なる高炉セメントの強度発現と水和反応

前橋工科大学 ○佐 川 孝 広
田 中 拳太郎

第2会場

10:30~11:45 C-S-Hの長期安定性、セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 3201~3205]

*3201. 硫酸イオンの収着および溶出に伴うC-S-Hの化学的変化

山梨大学大学院 ○佐 藤 賢之介
山梨大学 伊 藤 なつ音
山梨大学大学院 齊 藤 成彦

3202. AIや養生温度の違いがトバモライト生成やその結晶構造に及ぼす影響

新潟大学大学院 ○三 森 耀 介
新潟大学 斎 藤 豪
新潟大学大学院 鈴木 一 帆
新潟大学 佐 伯 竜 彦

3203. C-S-H共存時のエトリンサイト二次生成量の定量評価とその反応に伴う構造変化の把握

山梨大学大学院 ○渡 邊 直 哉
山梨大学 佐 藤 賢之介
山梨大学大学院 齊 藤 成彦

3204. 長期間の調湿による低熱ポルトランドセメントを用いたセメント硬化体の空隙構造変化に関する検討

名古屋大学大学院 ○瀬 川 実 暉
後 藤 壮
栗 原 諒
丸 山 一 平

3205. 炭酸化したセメントペーストの水和物とpHの変化に及ぼす相対湿度の影響

琉球大学 ○須 田 裕 哉
富 山 潤

<昼休み 12:00~13:00>

<昼休み 11:45~13:00>

第3会場

10:30~12:00 セメント系補修材、コンクリートの診断・補修

〔研究発表 3301~3306〕

3301. バクテリアを用いた自己治癒コンクリートの最適な調合の決定に関する基礎的研究

日本大学大学院	○	川	崎	浩	長
日本大学		春	木	満	
Delft University of Technology		JONKERS Henk			
日本大学		PAREEK Sanjay			

3302. 超微粒子スラグセメントと特殊増粘剤を用いた水中不分離性注入材の開発

芝浦工業大学	○	大	橋	優	樹
		伊	代	岳	史
全国止水躯体補修工事協同組合		天	野	智	雄
日鉄セメント株式会社		高	林	佳	孝

3303. 表層コンクリート評価に向けた基礎的検討

芝浦工業大学	○	中	島	隆	史
株式会社佐藤工業		北	川	真	也
芝浦工業大学		伊	代	岳	史

3304. 高浸透型ケイ酸塩系補修剤の浸透性の評価

山口大学大学院	○	李	柱	国	道
		田	場	祐	道
極東興和株式会社		北	田	達	也
		江	良	和	徳

3305. 浅はつりコンクリートにおける各種高機能断面修復工法を用いた鉄筋防錆に関する基礎的研究

福岡大学大学院	○	岡	部	倅	大
福岡大学		櫛	原	弘	貴
福岡大学大学院		添	田	政	司
極東興和株式会社		江	良	和	徳

3306. 空中超音波法を適用したコンクリート内部の充填不良部探査結果に及ぼす空中超音波の走査方向の影響に関する基礎的研究

愛知工業大学	○	小	川	大	貴
愛知工業大学大学院		関	大	俊	力
愛知工業大学		瀬	古	繁	喜
		山	田	和	夫

〈昼休み 12:00~13:00〉

5月28日(金)

第1会場

13:00~14:15 混合セメント

[研究発表 3107~3111]

3107. コンクリート製品での実用を想定した養生条件下における高C₃Sセメントを用いたフライアッシュセメントの長期水和性状

太平洋セメント株式会社 ○多田真人
久我龍一郎
株式会社デイ・シイ 内田俊一郎
二戸信和

3108. 養生温度30℃で長期水和した高C₃Sセメントを用いたフライアッシュセメントの反応解析と水和物組成

太平洋セメント株式会社 ○久我龍一郎
東京工業大学 梅津真見子
相川豊
坂井悦郎

*3109. 空隙構造の異なる硬化体を用いた物質移動試験の比較

芝浦工業大学大学院 ○名古屋智樹
芝浦工業大学 澁谷亜香里
伊代田岳史

3110. 少量混合成分増量セメントの物性に及ぼす高炉スラグの塩基度の影響

宇部興産株式会社 ○後藤卓
原田奏也
伊藤貴康

3111. 少量混合成分の増大が混合セメントの流動性および水和反応特性に及ぼす影響

島根大学 ○葛間雄飛
新大軌

第2会場

13:00~14:15 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 3206~3210]

*3206. 様々な物質移動試験を用いたモルタルの空隙ネットワーク表現に関する一研究

芝浦工業大学大学院 ○澁谷亜香里
芝浦工業大学 伊代田岳史

3207. 尿素モルタルの作製方法が乾燥収縮特性に及ぼす影響

神戸大学大学院 ○小出健人
鈴木麻里子
熊本高等専門学校 南家武樹

3208. 膨張モルタルの加圧養生期間と強度の関係

神戸大学大学院 ○境美緒
日吉恵理
鈴木麻里子
井上一哉

3209. 高炉スラグ固化体の拡散性能に及ぼす無機塩の影響

北海道大学大学院 ○胡桃澤清文

3210. ネパール製セメントを用いたセメント硬化体の酸素拡散に関する基礎的研究

宮崎大学 村上地洋
宮崎大学大学院 ○松浪康行
宮崎大学 李春鶴

〈休憩 14:15~14:40〉

〈休憩 14:15~14:40〉

第3会場

13:00~14:15 高流動コンクリート

[研究発表 3307~3311]

3307. アンサンブル学習を用いた高流動コンクリートのフレッシュ性状推定 その1 ランダムフォレストとLightGBMの比較

琉球大学大学院 ○清水 寛 太
 琉球大学 山田 義 智
 株式会社フローリック 平野 修 也

3308. アンサンブル学習を用いた高流動コンクリートのフレッシュ性状推定 その2 スタッキングによる高精度化の検討

琉球大学大学院 ○清水 寛 太
 琉球大学 山田 義 智
 株式会社フローリック 平野 修 也

3309. ランダムフォレストによる高流動コンクリートの材料分離予測

琉球大学 ○比嘉 龍 一
 琉球大学大学院 清水 寛 太
 琉球大学 山田 義 智

3310. スランプフローとスランプの関係からみた締固めを必要とする高流動コンクリートの材料分離抵抗性の評価

土木研究所 ○片平 博
 古賀 裕 久

3311. PCa製品向け高流動コンクリートの配合設計に関する検討

住友大阪セメント株式会社 ○中西 縁
 小田部 裕 一

〈休憩 14:15~14:40〉

5月28日(金)

第1会場

14:40~15:40 特殊セメント

[研究発表 3112~3115]

3112. 石灰-煨焼粘土系セメントの水和反応に関する検討

新潟大学大学院 ○近 藤 祥 太
新潟大学 斎 藤 一 豪
新潟大学大学院 鈴 木 一 帆
新潟大学 佐 伯 竜 彦

3113. 高硫酸塩スラグセメントの強さ発現性に対する無機系刺激材の効果 (その1: 刺激材の調査)

三菱マテリアル株式会社 ○門 田 浩 史
松 島 正 明
吉 田 友 香
下 坂 建 一

3114. 高硫酸塩スラグセメントの強さ発現性に対する無機系刺激材の効果 (その2: 刺激材の組合せ)

三菱マテリアル株式会社 ○門 田 浩 史
松 島 正 明
吉 田 友 香
下 坂 建 一

3115. 全量高炉スラグ系副産物を使用したペースト・モルタルの塩分浸透抵抗性に関する研究

東京理科大学大学院 ○陳 君 毅
今 本 啓 一
清 原 千 鶴

(終了 15:40)

第2会場

14:40~15:40 高強度コンクリート、繊維補強コンクリート

[研究発表 3211~3214]

3211. 酷暑期を想定した高強度コンクリートの諸特性

太平洋セメント株式会社 ○曾 根 涼 太
大 野 拓 也
玉 森 俊 裕
高 田 修 平

3212. 顆粒状シリカフェームの超高強度コンクリートへの適用性に関する研究

住友大阪セメント株式会社 ○宮 蘭 雅 裕
中 上 明 久
小田部 裕 一

3213. 高強度繊維補強コンクリートの圧縮クリープ特性に関する基礎的研究

東京理科大学大学院 ○羊 本 友
東京理科大学 今 本 啓 一
清 原 千 鶴

3214. 高温履歴を受ける天然繊維混入型PCはりの爆裂抑制効果

群馬大学 ○橋 田 美知花
群馬大学大学院 池 谷 拓由紀
株式会社ピーエス三菱 藤 本 謙太郎
群馬大学大学院 小 澤 満津雄

(終了 15:40)

／セメント協会の出版物・好評発売中／

研
修
に

セメントの常識

A4判・72頁・2200円



「はじめて学ぶセメント・コンクリート」をコンセプトに、新人研修から知識の再整理まで、お役に立ちます。

第
四
版

セメント系固化材による 地盤改良マニュアル

A5判・442頁・6600円



多くの現場で採用が続くセメント系固化材。その特徴と原理、数多くの事例をよりわかりやすく解説。

収
集
報

月刊セメント・コンクリート

A4判・64頁・1100円

年間定期購読11000円(送料込)
まずは無料サンプルをどうぞ(HPまで)



1948年の創刊以来「セメント誌」の愛称で親しまれて70年。セメント業界が発信する技術情報誌です。

疑
問
に

C³クリップボード [コンクリート化学編]

A4判・123頁・3080円



コンクリートの気になるキーワード。全47項目を2〜3頁で簡潔に解説。セメント化学編とあわせてどうぞ。

『月刊セメント・コンクリート』まずは3ヵ月読んでみませんか？
セメ・コンの「いま」がわかります。無料試読のお申込みはセメント協会HPより

一般社団法人セメント協会 図書販売係 まで

東京都中央区日本橋本町1-9-4 ☎03-5200-5053 03-5200-5082

ウェブサイトではこの他にもたくさんの出版物を紹介しています。

セメント協会

検索

表示価格は税込です

● 特別講演 ●

(オンデマンド配信)

地球温暖化をめぐる内外情勢と我が国の課題

東京大学 公共政策大学院 教授 有馬 純氏

● 基調講演 ●

(オンデマンド配信)

コンクリート構造物の複合劣化

金沢工業大学 教授 宮里 心一氏

● 委員会報告 ●

5月26日 (水) 15:10~15:25

舗装技術専門委員会

5月26日 (水) 15:25~15:45

コンクリート舗装の長寿命化・信頼性向上技術検討会

5月27日 (木) 13:00~13:15

セメント系固化材技術専門委員会



セメントハンドブック2020年度版 インターネットからご覧下さい

わが国セメント産業のデータ集「セメントハンドブック」は、2013年度版より電子書籍化して公開しております。企業概況・需給状況・流通・原燃料・生産性・関連製品・市況・世界のセメント需給・関連経済指標と多岐にわたり掲載。業界人必須の一冊をお手元の端末で、いつでもどこからでも閲覧可能です。

セメントハンドブック 2020 年度版
https://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/jj3h_06.pdf



セメント協会 HP はこちら
<https://www.jcassoc.or.jp/>



※本書籍の閲覧およびダウンロードのご利用は無料ですが、別途通信料が発生いたします。

セメント・コンクリート論文集 Vol.75（2021年度）論文募集のご案内

セメント協会では、セメント・コンクリート論文集Vol.75に掲載するための論文を募集いたします。
「セメント・コンクリート論文集投稿要領」および「セメント・コンクリート論文集原稿執筆要領」をご高覧のうえ、
ふるってご応募ください。

1. 論文の申込み

セメント協会ホームページ [http://www.jcassoc.or.jp(イベント・募集>募集>セメント・コンクリート論文集)]
から申込書ファイル（Microsoft Excel形式）をダウンロードし、必要事項すべてを明記のうえ、締切日までに
「5. 提出および問合せ先（事務局）」にE-mailの添付ファイルとして送信してください。

2. 論文投稿受付期間 2021年4月1日（木）～5月31日（月） 17時まで

3. 投稿のための費用 無料

4. セメント協会論文賞

セメント・コンクリート論文集（過去2ヶ年〈2冊〉）に掲載された論文の中から特に優秀と認めた論文に対し、
毎年『セメント協会論文賞』を授与いたします。

5. 提出および問合せ先（事務局）

〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号 一般社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ
TEL:03-3914-2692 E-mail : jca_event@jcassoc.or.jp

土木学会認定のCPDプログラムの受講証明書の発行について

本大会はWeb講習会の取り扱いとなります。受講証明書をご希望の方は以下の手順によりお申し込みください。

〈お申し込み方法〉

第75回セメント技術大会ホームページの「CPDについて（受講証明書）」からお申し込みください。
（申込期間 2021年6月1日（火）～6月11日（金））

〈注意事項〉

以下の条件を満たしていることが確認された場合に発行の対象となります。条件を満たさない場合は発行の対象となりませんのでご注意ください。

- ・受講確認（大会終了後に視聴履歴から受講確認を致します）
※聴講の際は入室後に表示名を受付番号、氏名に変更ください。（例 A00000セメント太郎）
受付番号は参加申込後の返信メールに記載されています。
- ・受講して得られた所見（100文字以上）の提出

ご不明な点は以下までご連絡下さい。

一般社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ
TEL. 03-3914-2692 E-mail jca_event@jcassoc.or.jp

〈土木学会以外のCPDに単位を登録する際の注意〉

土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。



セメント技術大会ホームページ